

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(PCA 会計)

第 2.6 版

目次

はじめに.....	3
1 連携の概要.....	4
1.1 連携の概要.....	4
1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施する(連携 1).....	4
1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成する(連携 2).....	6
1.2 連携条件について.....	7
1.3 連携の流れ.....	8
1.3.1 連携の流れ(連携 1).....	8
1.3.2 連携の流れ(連携 2).....	9
2 事前設定(連携 1).....	10
2.1 「PCA 会計」事前設定(連携 1).....	10
2.1.1 勘定科目を確認する.....	10
2.1.2 会社口座を確認する.....	13
2.1.3 補助科目を確認する (連携 1-①).....	16
2.1.4 補助科目を確認する (連携 1-②).....	22
2.1.5 振込先を確認する.....	27
2.2 本ソフトの事前設定(連携 1).....	31
2.2.1 取引先を設定する (連携 1-①).....	31
2.2.2 取引先を設定する (連携 1-②).....	33
2.2.3 社内口座を設定する.....	35
3 連携手順(連携 1).....	37
3.1 連携手順(連携 1).....	37
3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する.....	37
3.1.2 振込データを作成する (連携 1-①).....	39

3.1.3	振込データを作成する（連携 1-②）.....	44
3.1.4	一括請求ファイルを作成する.....	54
4	事前設定(連携 2).....	61
4.1	「PCA 会計」事前設定(連携 2).....	61
4.1.1	勘定科目を確認する.....	61
4.1.2	補助科目を確認する.....	64
4.1.3	部門を確認する.....	70
4.2	本ソフトの事前設定(連携 2).....	72
4.2.1	通知確認設定情報を設定する.....	72
4.2.2	取引先を設定する.....	73
4.2.3	出力 CSV 設定を設定する.....	75
4.2.4	固定値を設定する.....	76
5	連携手順(連携 2).....	85
5.1	連携手順(連携 2).....	85
5.1.1	通知ファイルを読み込む.....	85
5.1.2	通知情報を確認する.....	89
5.1.3	仕訳伝票を作成する.....	91

はじめに

本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の会計ソフト「PCA 会計」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

本書で使用する画面例については「PCA 会計 X」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

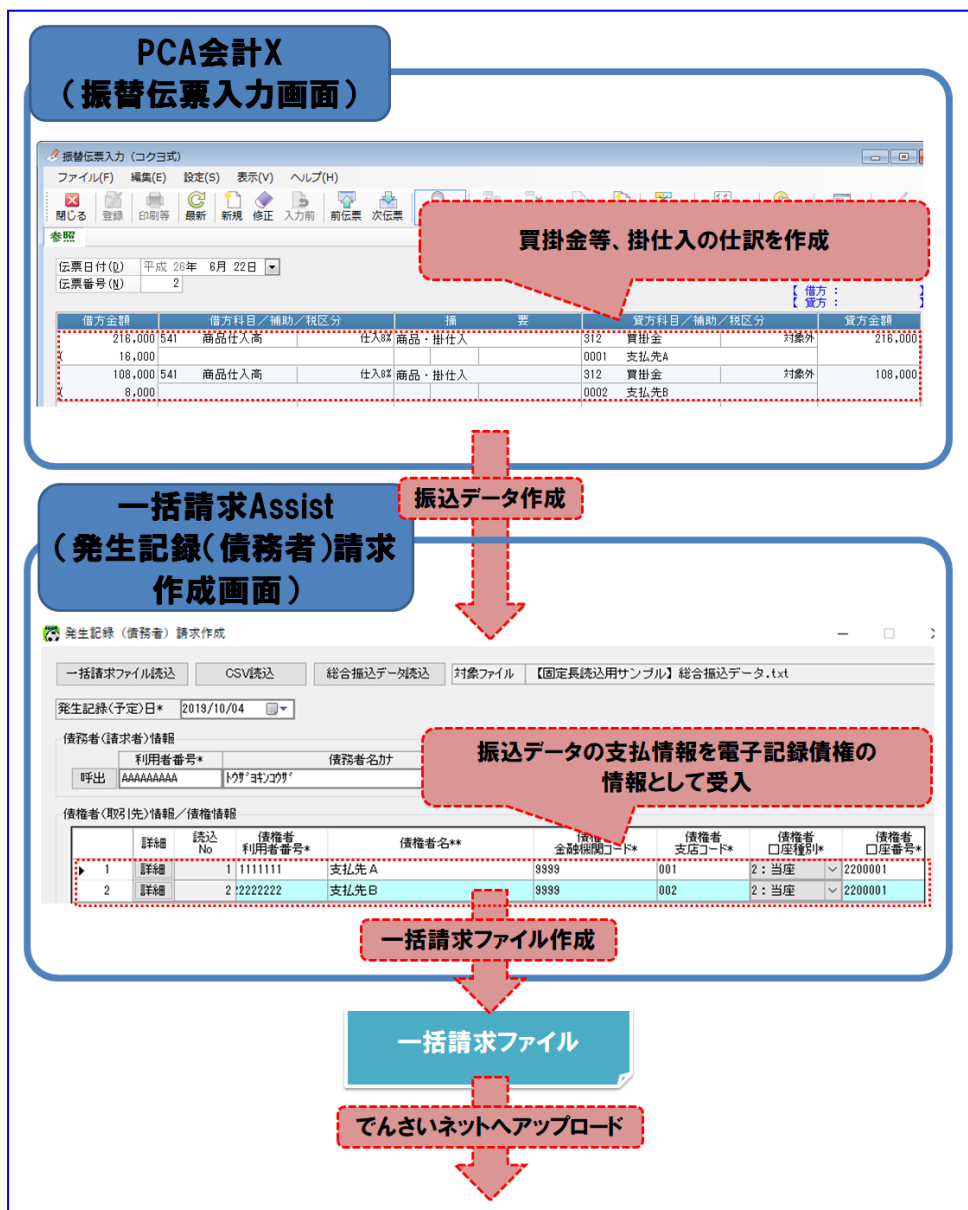
本書に記載されていない「PCA 会計」のその他機能の詳細については、「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。

1 連携の概要

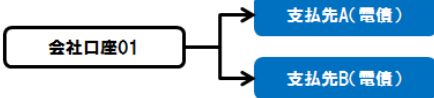
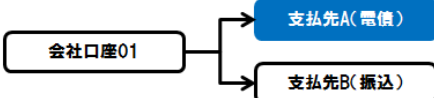

1.1 連携の概要

1.1.1 買掛金の支払を電子記録債権で実施する(連携 1)

本ソフトは、「PCA 会計」から出力した振込データを読み込み、電子記録債権の債務情報を付加した発生記録(債務者)一括請求ファイル(でんさいネット標準フォーマット(固定長テキスト形式)1.2版の集信1)を出力することができます。「PCA 会計」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、簡単に支払先へ電子記録債権で支払うことができます。(以下、連携 1)



なお、「PCA 会計」と本ソフトを連携（連携 1）する場合、お客様の利用方法により、連携ができない場合や、事前設定方法が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

	会社口座のパターン 会社口座01：電子記録債権&振込の決済用口座	マニュアル参照箇所	
支払先への決済パターン	① 支払先企業全てに電子記録債権で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：電子記録債権で決済	本ソフトと「PCA会計X」の連携は可能です。 右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。 	2 事前設定（連携1） 2.1.1 勘定科目を確認する 2.1.2 会社口座を確認する 2.1.3 補助科目を確認する（連携1-①） 2.1.5 振込先を確認する 2.2.1 取引先を設定する（連携1-①） 2.2.3 社内口座を設定する 3 連携手順（連携1） 3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する 3.1.2 振込データを作成する（連携1-①） 3.1.4 一括請求ファイルを作成する
	② 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：振込で決済	本ソフトと「PCA会計X」の連携は可能です。 右記を参照し、事前設定と連携を行ってください。 	2 事前設定（連携1） 2.1.1 勘定科目を確認する 2.1.2 会社口座を確認する 2.1.4 補助科目を確認する（連携1-②） 2.1.5 振込先を確認する 2.2.2 取引先を設定する（連携1-②） 2.2.3 社内口座を設定する 3 連携手順（連携1） 3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する 3.1.3 振込データを作成する（連携1-②） 3.1.4 一括請求ファイルを作成する
	③ 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権&振込で決済	本ソフトと「PCA会計」の連携はできません。 電子記録債権は本ソフトの発生記録（債務者）請求作成より 決済してください。 振込は「PCA会計」の銀行振込依頼書より決済してください。 	-



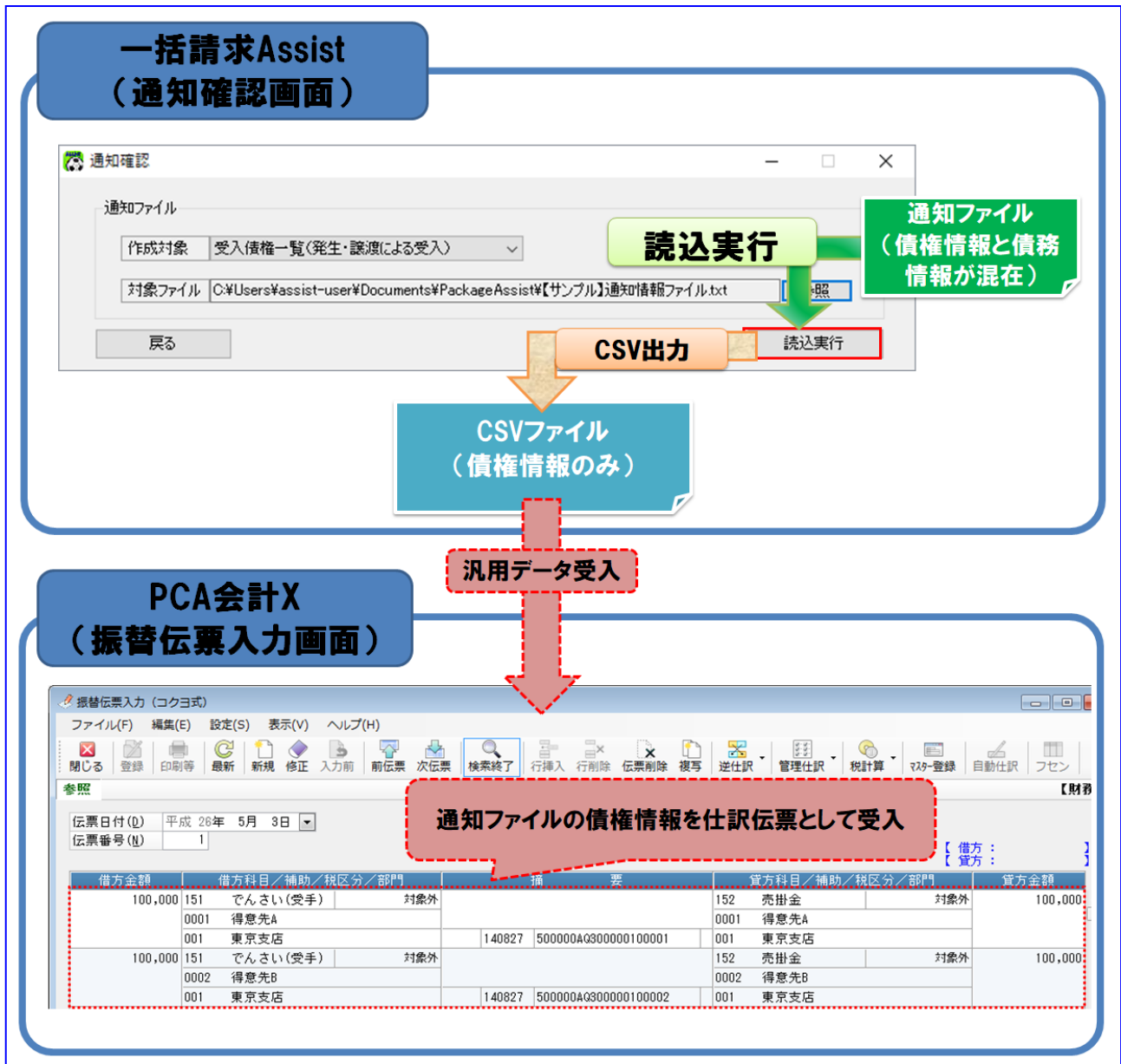
上記①②の決済パターンについて、「支払先A」「支払先B」のように2社の例を記載しておりますが、2社以上でも連携可能です。



振込は本ソフト経由では実施できません。振込データはEBソフト等に読み込み、振込を実施してください。
 振込データの作成については「**3 連携手順(連携1)**」をご参照ください。

1.1.2 通知ファイルから仕訳伝票を作成する(連携 2)

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2 版の配信 1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計」に読み込むことにより簡単に仕訳伝票を作成することができます。（以下、連携 2）



また、「PCA 会計」と本ソフトの連携を実施する場合、お客様の電子記録債権の利用方法に関わらず、連携は可能になります。

1.2 連携条件について

連携可能な「PCA 会計」のバージョンについては、株式会社 NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

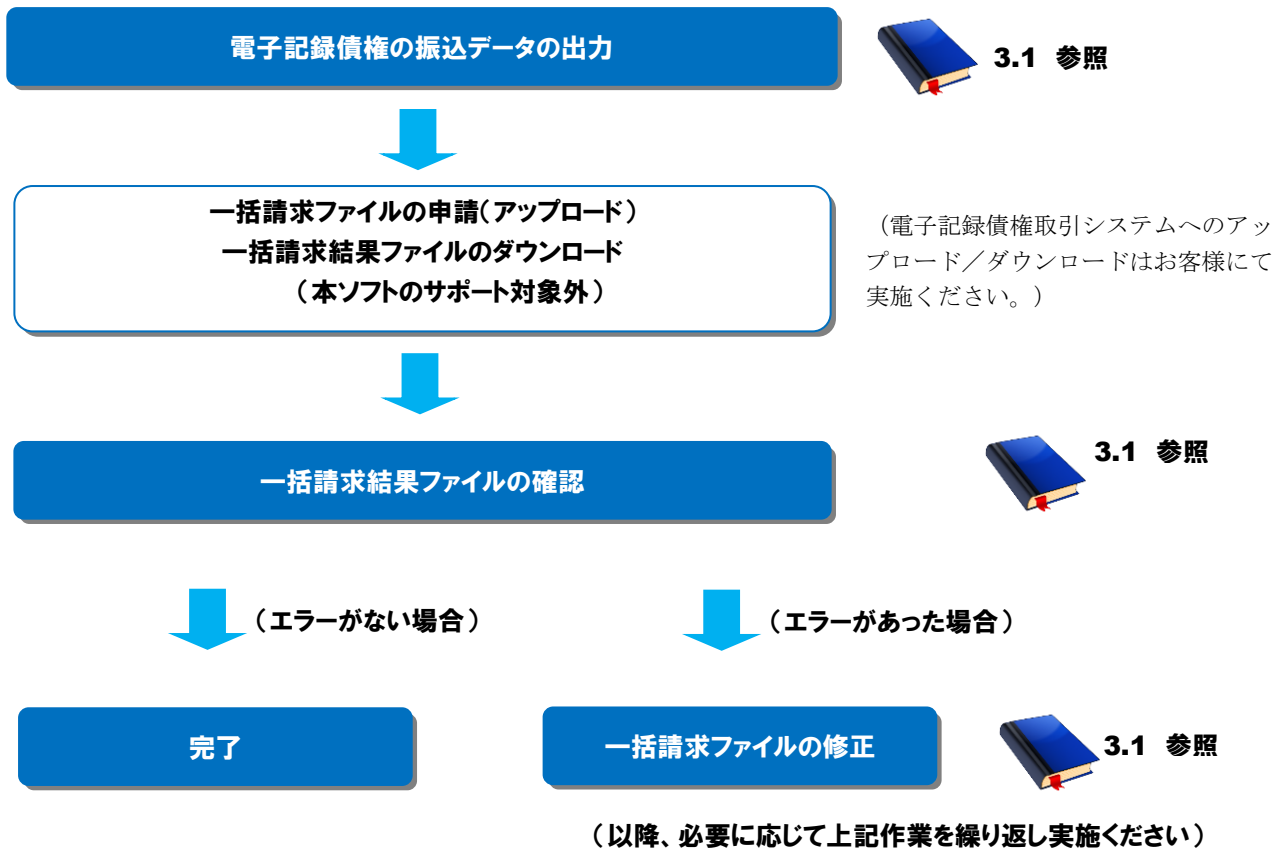
1.3 連携の流れ

1.3.1 連携の流れ(連携 1)

事前設定

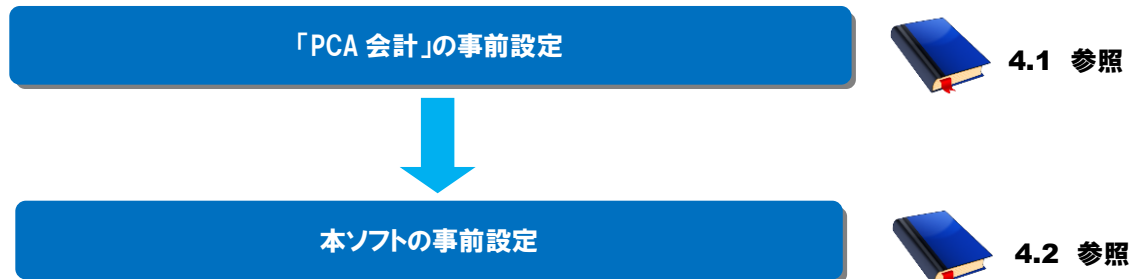


連携手順

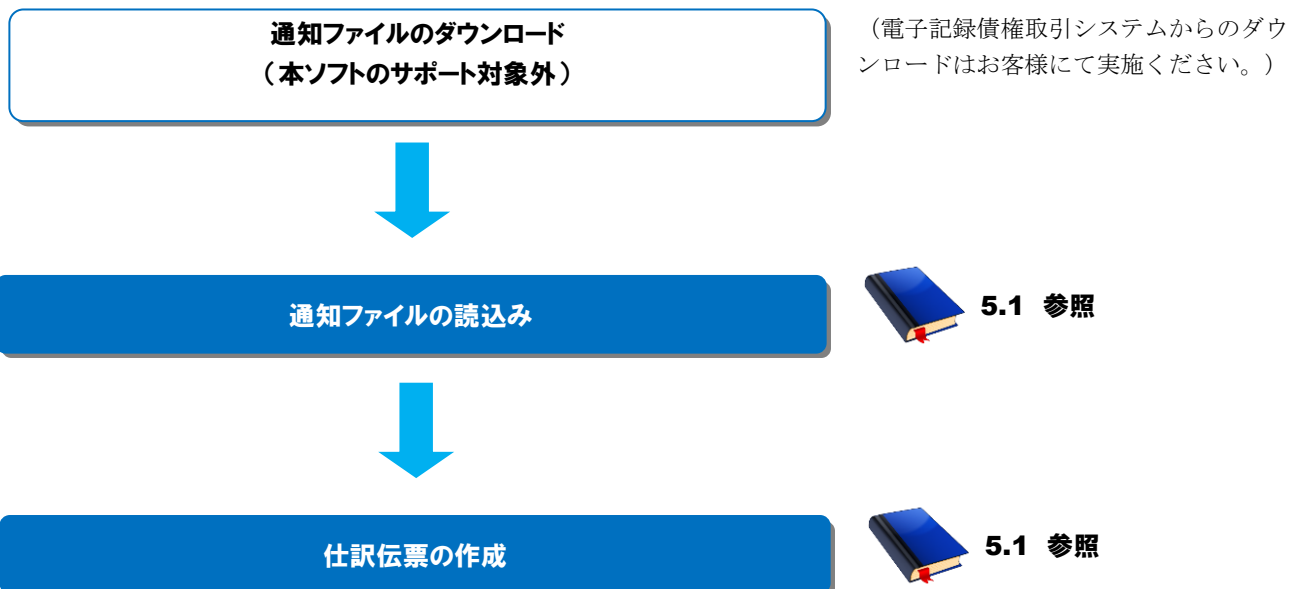


1.3.2 連携の流れ(連携 2)

事前設定



連携手順



2 事前設定（連携1）

2.1 「PCA 会計」事前設定(連携1)

買掛金の支払を電子記録債権で実施する際（連携1）の「PCA 会計」事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
勘定科目を
確認する

2.1.2
会社口座を
確認する

2.1.3
補助科目を
確認する
(連携1-①)

2.1.4
補助科目を
確認する
(連携1-②)

2.1.5
振込先を
確認する

操作方法

2.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- ✚ 「PCA 会計」を開き、[前準備]>[勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「買掛金」が存在することを確認します。
- 勘定科目「買掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	勘索引	管借
302	電子記録債務	支払手形	デビツト	貸方
312	買掛金	買掛金	カウツト	貸方
321	短期借入金	短期借入金	カウツト	貸方
322	未払金	未払金	デビツト	貸方
323	未払費用	未払費用	デビツト	貸方
324	前受金	前受金	カウツト	貸方
325	前受収益	前受収益	カウツト	貸方
326	預り金	預り金	アツカ	貸方
327	未払事業税等	未払事業税等	デビツト	貸方
328	未払法人税等	未払法人税等	デビツト	貸方
329	繰延税金負債	繰延税金負債	カウツト	貸方
330	未払配当金	未払配当金	デビツト	貸方
331	仮受金	仮受金	カウツト	貸方
332	他流動負債	その他の流動負債	ソツカ	貸方
335	仮受消費税等	仮受消費税等	カウツト	貸方
336	未払消費税等	未払消費税等	デビツト	貸方
337	賞与引当金	賞与引当金	カウツト	貸方
338	割引手形	割引手形	カウツト	貸方
339	裏書手形	裏書手形	カウツト	貸方
340	長期借入金	長期借入金	カウツト	貸方
342	繰延税金負債	繰延税金負債	カウツト	貸方
351	他固定負債	その他の固定負債	ソツカ	貸方
359	退職給付引当金	退職給付引当金	カウツト	貸方

- 勘定科目「電子記録債務」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債務」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	貸借
302	電子記録債務	支払手形	デフォルト	貸方
312	貸付金	貸付金	加付	貸方
321	短期借入金	短期借入金	加付	貸方
322	未払金	未払金	デフォルト	貸方
323	未払費用	未払費用	デフォルト	貸方
324	前受金	前受金	デフォルト	貸方
325	前受収益	前受収益	デフォルト	貸方
326	預り金	預り金	デフォルト	貸方
327	未払事業税等	未払事業税等	デフォルト	貸方
328	未払法人税等	未払法人税等	デフォルト	貸方
329	繰延税金負債	繰延税金負債	加付	貸方
330	未払配当金	未払配当金	デフォルト	貸方
331	仮受金	仮受金	加付	貸方
332	他流動負債	その他の流動負債	デフォルト	貸方
335	仮受消費税等	仮受消費税等	加付	貸方
336	未払消費税等	未払消費税等	デフォルト	貸方
337	賞与引当金	賞与引当金	デフォルト	貸方
338	割引手形	割引手形	加付	貸方
339	裏書手形	裏書手形	加付	貸方
340	長期借入金	長期借入金	加付	貸方
342	繰延税金負債	繰延税金負債	加付	貸方
351	他固定負債	その他の固定負債	デフォルト	貸方
359	退職給付引当金	退職給付引当金	加付	貸方



勘定科目「電子記録債務」の新規作成について

- 勘定科目属性は「支払手形」を設定してください。
- 貸借区分は「貸方」を設定してください。

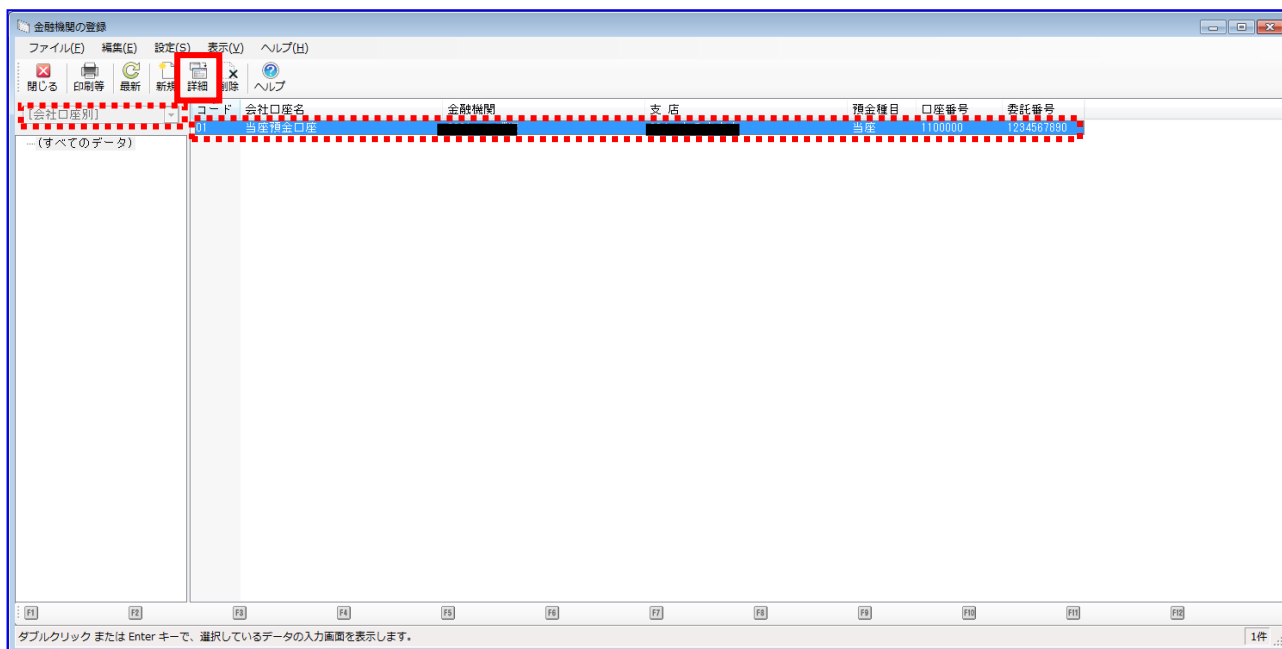
2.1.2 会社口座を確認する

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社口座が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)



- 金融機関情報、会社口座情報、関連科目情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

修正

基本情報(A):

コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フリガナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フリガナ []

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 1100000
委託番号 1234567890
委託者名 委託者名
委託者名フリガナ イクサメル
区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

関連科目情報(G):

会社口座科目 121 当座預金
会社口座補助科目 []
支払手数料科目 741 支払手数料
支払手数料補助科目 []
雑収入科目 819 雑収入
雑収入補助科目 []

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するためには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-①）


連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備] > [補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1~4 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。）

コード	補助科目名	加索引	勘定科目名	補助区分	借税	貸税	税自動計算	税端数処理	振込先	締日
0001	支払先A	汎用	電子記録債務	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用しない	0
0002	支払先B	汎用	買掛金	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用する	0
0002	支払先B	汎用	電子記録債務	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用しない	0
0002	支払先B	汎用	買掛金	共通	00	00	税計算しない	指定なし	使用する	0


 電子記録債務の支払先は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。

例 1：補助科目名「支払先 A」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先A」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A」、勘定科目「買掛金」の設定例

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

新規

1 勘定科目(K) 312 買掛金

2 補助区分(Q) 科目別補助 共通補助

基本設定(B):

コード 0001 補助選択(G) 3 共通補助として登録されている科目

補助科目名 支払先A

加索引 シライイ

補助科目正式名 支払先A

正式名カナ シライイ

税設定 住所情報 振込先

4 振込先情報(P):

振込先 1:振込先に使用する

締日 0

支払日 0

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	「共通補助」を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「支払先 B」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動 削除 一覧 ヘルプ

新規

1 勘定科目(K) 302 電子記録債務

2 補助区分(C) 科目別補助 共通補助

基本設定(B):

3 コード 0002

4 補助科目名 支払先B

加索引 支払先

補助科目正式名 支払先B

正式名フカナ 支払先B

税設定 住所情報 振込先

5 振込先情報(P):

振込先 0:振込先に使用しない

締日 0

支払日 0

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

半角30文字以内で入力してください。

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先B」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「支払先 B」、勘定科目「買掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	「共通補助」を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例3で設定した補助科目名を選択する。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.1.4 補助科目を確認する（連携 1-②）


連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[補助科目の登録]を押下します。



- 振込先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1～3 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください）。

コード	補助科目名	加算引	勘定科目名	補助区分	借税	貸税	税自動計算	税端処理	振込先	締日
0001	支払先A(で)	シラナイ	電子記録債務	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
0001	支払先A(で)	シラナイ	買掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用する	0
0002	支払先B	シラナイ	買掛金	科目別	00	00	指定なし	指定なし	使用する	0


 電子記録債務の振込先（支払先 A（で））は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2 つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債務」「買掛金」が登録されます。
 銀行振込の振込先（支払先 B）は、補助区分「科目別補助」で作成し、勘定科目「買掛金」で登録します。

例 1：補助科目名「支払先 A（で）」、勘定科目「電子記録債務」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債務」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先A(で)」を設定します。
5	振込先	「0：振込先に使用しない」を選択します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「支払先 A（で）」、勘定科目「買掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	「共通補助」を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。
4	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。
5	締日	支払先Bと重複しない締日（00～99の数字）を入力します。



締日とは、振込先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



補助科目の新規登録時は締日の入力できませんが、新規登録後に[修正]を押下することで締日の入力が可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「支払先 B」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「買掛金」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「支払先B」を設定します。
5	振込先	「1：振込先に使用する」を選択します。
6	締日	支払先Aと重複しない締日（00～99の数字）を入力します。



締日とは、振込先をグループ化する番号になります。銀行振込依頼書の集計時のキーとして使用します。
実際の締日とは異なる番号を入力することが可能です。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

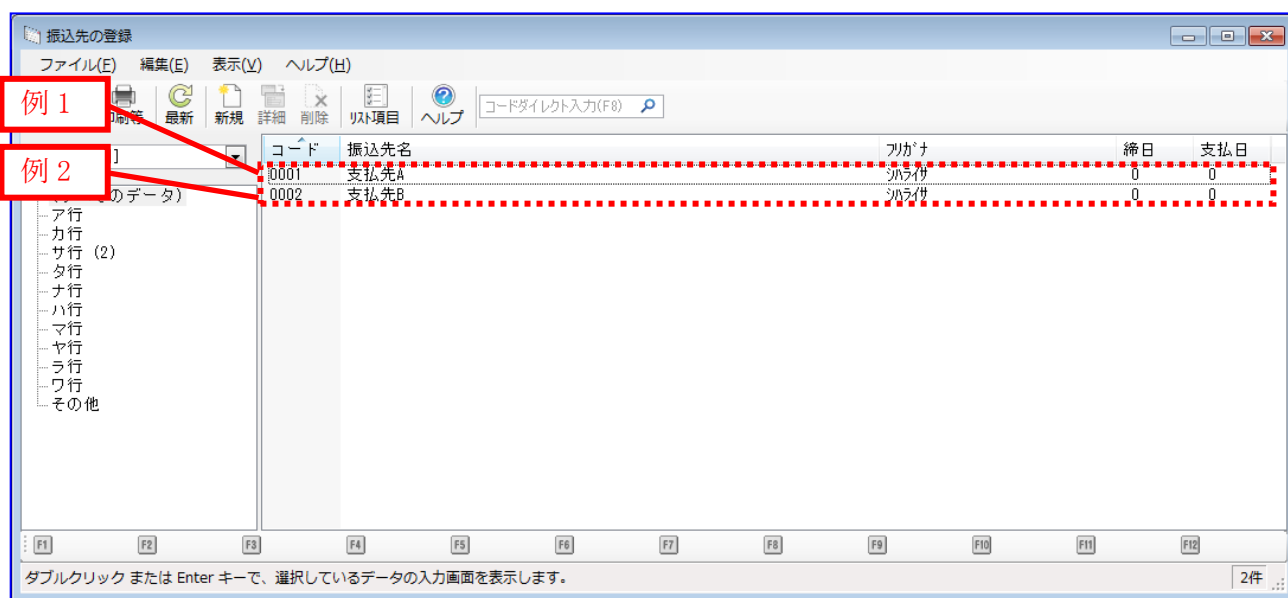
2.1.5 振込先を確認する

連携で使用する振込先が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備] > [振込先の登録]を押下します。



- 振込先が存在することを確認します。
振込先が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。



上記画面は「**2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-①）**」の例になります。
「**2.1.4 補助科目を確認する（連携 1-②）**」の場合は締日の表示が異なります。

例 1：支払先 A の振込先の登録

No	項目	説明
1	補助コード	「支払先A」の補助科目コードを設定します。
2	会社口座	会社口座を設定します。
3	振込先金融機関	「支払先A」の口座情報を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2 : 支払先 B の振込先の登録

1 補助コード(K) 0002 支払先B

2 会社口座(A):
会社口座 01 当座預金口座(でんさい用)
金融機関
支店
口座番号 1100000

3 振込先金融機関(B):
金融機関
支店
口座番号 2200002
預金種目 普通 当座
送金方法 電信 文書
振込手数料負担 当方 先方 振込金額 0 円以上なら 先方

詳細設定(Q):
識別区分 顧客コード EDI情報
顧客コード1
顧客コード2
EDI情報

補助科目正式名と異なる名称を使用する(D)	
振込先名	支払先B
アガナ	シライサ
締日	0
支払日	0
郵便番号	
住所1	
住所2	
TEL	
FAX	

No	項目	説明
1	補助コード	「支払先B」の補助科目コードを設定します。
2	会社口座	会社口座を設定します。
3	振込先金融機関	「支払先B」の口座情報を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定(連携 1)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

2.2.1
取引先を
設定する
(連携 1-①)

2.2.2
取引先を
設定する
(連携 1-②)

2.2.3
社内口座を
設定する

操作方法

2.2.1 取引先を設定する (連携 1-①)

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 補助科目を確認する(連携 1-①)」で登録した振込先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	111111111	支払先 A			2: 当座	2200001
2	222222222	支払先 B			2: 当座	2200002



「取引先 ID」は本連携では入力不要です。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

PCA会計X
振込先の登録画面

振込先の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動

参照

補助コード(K) 0001 支払先A

会社口座(A):

会社口座 01 当座預金口座 (でんさい用)

金融機関 [REDACTED]

支店 [REDACTED]

口座番号 1100000

振込先金融機関(B):

金融機関 [REDACTED]

支店 [REDACTED]

口座番号 2200001

預金種目 普通 当座

振込先の登録

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 最新 新規 修正 入力前 前移動 次移動

参照

補助コード(K) 0002 支払先B

会社口座(A):

会社口座 01 当座預金口座 (でんさい用)

金融機関 [REDACTED]

支店 [REDACTED]

口座番号 1100000

振込先金融機関(B):

金融機関 [REDACTED]

支店 [REDACTED]

口座番号 2200002

預金種目 普通 当座

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理

CSV読み込み CSV出力

取引先情報

利用者番号*	支払先*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
111111111	支払先A	[REDACTED]	[REDACTED]	2:当座	2200001
222222222	支払先B	[REDACTED]	[REDACTED]	2:当座	2200002

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目 戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.2 取引先を設定する（連携 1-②）

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「**2.1.3 補助科目を確認する（連携 1-②）**」で登録した振込先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶	1	支払先 A			2:当座	2200001



「取引先 ID」は本連携では入力不要です。

- 取引先管理画面に、振込先金融機関の口座情報を登録します。

PCA会計X 振込先の登録画面

一括請求Assist (取引先管理画面)



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 社内口座を設定する

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名加*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	当座預金口座	トク* 株式会社			2: 当座	1100000



「社内口座 ID」は本連携では入力不要です。

- 社内口座管理画面に、会社口座の口座情報を登録します。

**PCA会計X
金融機関の登録画面**

**一括請求Assist
(社内口座管理画面)**

	利用者名(検索用)*	利用者名カナ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	当座預金口座	トクモリカガ			2:当座	1100000

3 連携手順(連携 1)

3.1 連携手順(連携 1)

「PCA 会計」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順



操作方法

3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する

掛仕入の仕訳伝票を作成します。

- 「PCA 会計」を開き、[データ入力]>[振替伝票入力(コクヨ式)]、または [データ入力]>[振替伝票入力(連想摘要)]を押下します。(本例ではコクヨ式にて実施します。)



- 掛仕入の仕訳伝票を作成します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索終了 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マタ登録 自動仕訳

参照 【財務】

伝票日付(D) 平成 28年 6月 22日 1

伝票番号(N) 2

【借方 : 貸方 :】

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
216,000	541 商品仕入高	仕入% 商品・掛仕入	312 買掛金 対象外	216,000
16,000			0001 支払先A	
108,000	541 商品仕入高	仕入% 商品・掛仕入	312 買掛金 対象外	108,000
8,000			0002 支払先B	
324,000	合計	差額	0	324,000

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 1 / 999

No	項目	説明
1	伝票日付	伝票日付を入力します。
2	仕訳データA	支払先Aに対する掛仕入の内容を入力します。
3	仕訳データB	支払先Bに対する掛仕入の内容を入力します。



1枚の伝票に複数レコード登録し、連携することは可能です。
また、複数枚の伝票を作成し、連携することも可能です。

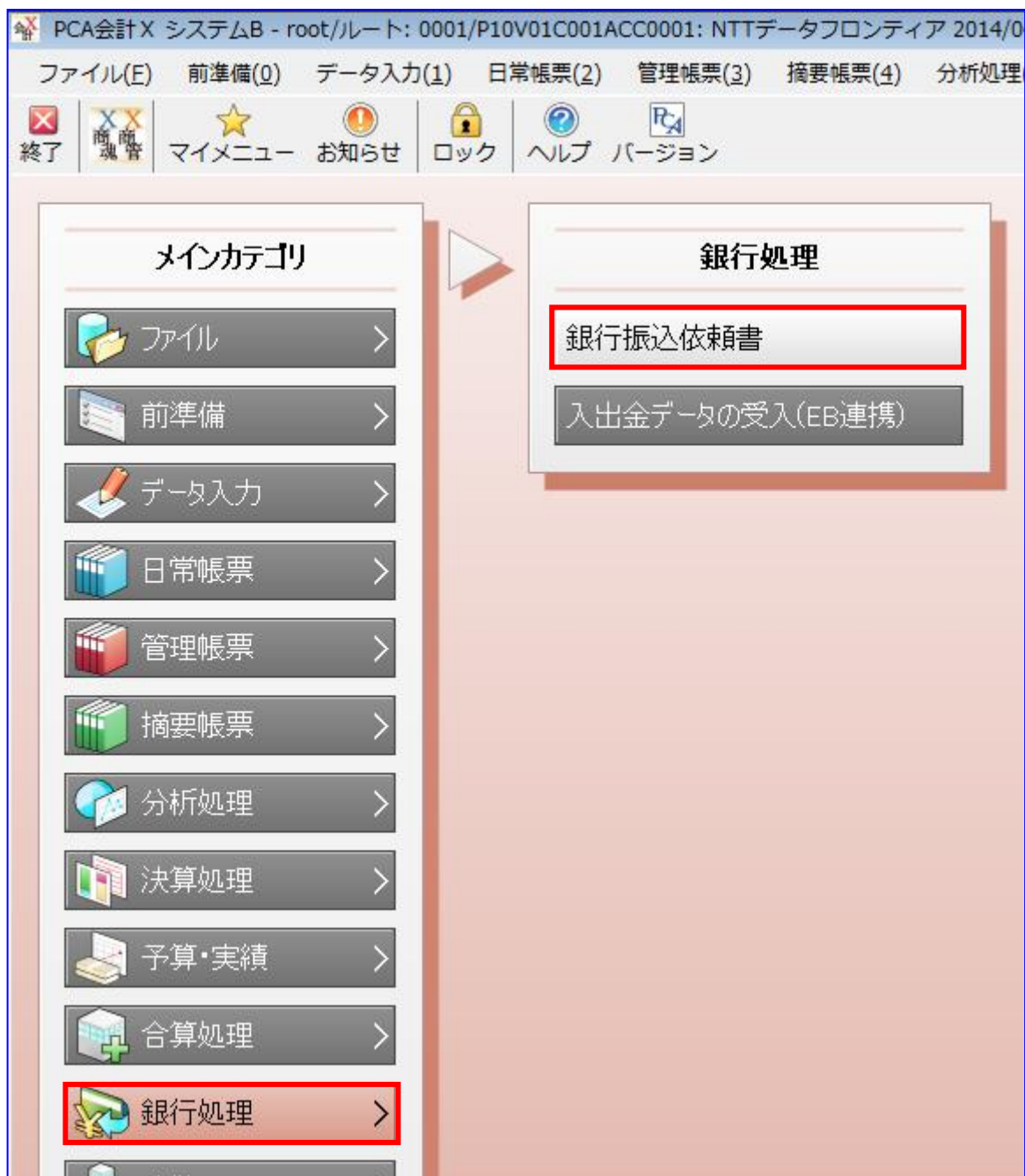


振替伝票入力画面で入力した金額、補助科目（振込先情報）は、本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

3.1.2 振込データを作成する（連携 1-①）

電子記録債権で支払う支払先 A、支払先 B 向けの振込データを作成します。

- ✚ [銀行処理] > [銀行振込依頼書]を押下します。



- ✚ 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

条件指示

1 出力の種類
 画面 (V) 印刷等 (P)

2 集計期間 (D)
2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

3 会社口座 (B)
会社口座 011 当座預金口座 (でんさい用)

締日 / 支払日 (C)
 締日 0
 支払日 0

起動時にこの画面を表示する **画面出力(F5)** キャンセル ヘルプ(F1)

No	項目	説明
1	出力の種類	「画面」を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。



集計期間には「**3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する**」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

銀行振込依頼書

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) データ作成(D) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 印刷 集計条件 再集計 行コピー 画面切替 振込金額編集 **振込データ作成** ヘルプ

会社口座(B) 01 当座預金口座(でんさい用)

締日(D) 0 支払日(M) 0

集計期間(L) 2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

金融機関	振込先	振込金額	口座番号	振込方法	先方手数料
0001	支払先A	216,000	2200001	電信	0
0002	支払先B	108,000	2200002	電信	0
合計		324,000	0		0

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

集計が完了しました。

- ✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する **1**

出力設定

取組日 (D) **2** 平成 26年 6月 22日

出力指定 (C) **3** 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) **4** C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。 本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。



取組日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先 A」「支払先 B」、摘要を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

The screenshots illustrate the process of editing a payment slip entry. In the first screenshot, the entry is for a bank transfer from a company account to a current account. In the second screenshot, the entry is updated to reflect that the payment is made via electronic record debt, with the credit account changed from '当座預金' (Current Account) to '電子記録債務' (Electronic Record Debt).

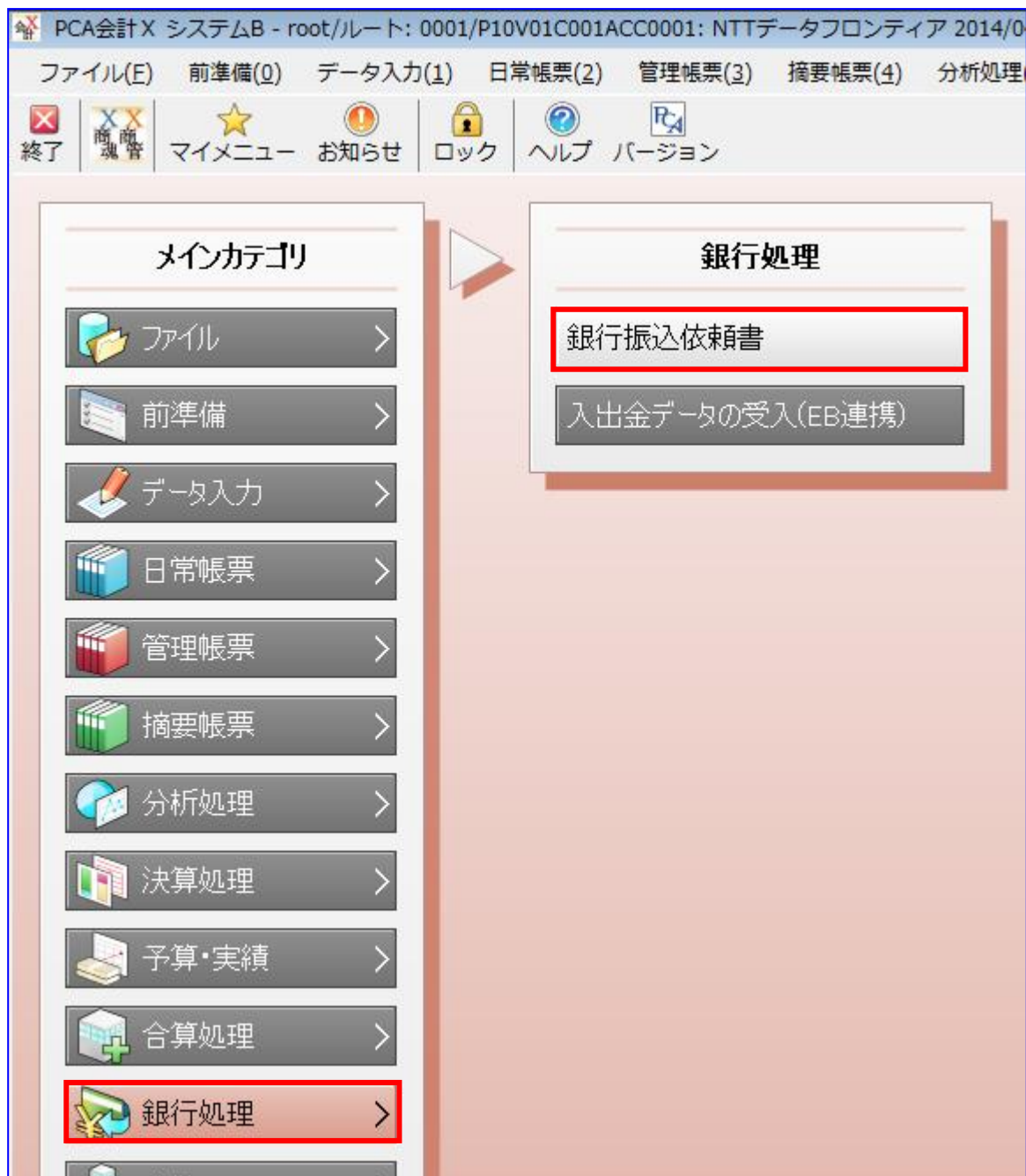


作成された支払先 A & 支払先 B の振込データは「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.3 振込データを作成する（連携 1-②）

電子記録債権で支払う支払先 A、銀行振込で支払う支払先 B 向けの振込データを作成します。

- ✚ 支払先 A 向けの振込データを作成します。
[銀行処理]>[銀行振込依頼書]を押下します。



- 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

No	項目	説明
1	出力の種類	「画面」を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。
4	締日 / 支払日	「2.1.4 補助科目を確認する (連携1-②)」で設定した支払先Aの締日を入力します。



集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先 A の締日を設定することにより、支払先 A 向けの振込データを作成します。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。

銀行振込依頼書

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) データ作成(D) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 実行 集計条件 再集計 行コピー 画面切替 振込金額編集 **振込データ作成** ヘルプ

会社口座(8) 01 当座預金口座

集計開始(F5)

締日(D) 90
 支払日(M) 0

集計期間(Q) 2014年 6月 22日 ~ 2014年 6月 22日

金融機関	振込先	預金種目	口座番号	振込方法
		振込金額	当方手数料	先方手数料
0001	支払先(デ)	216,000	2200001	電信
合 計		216,000	0	0

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

集計が完了しました。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■■■■■■
支店	■■■■■■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する 1

出力設定

取組日 (D) 2 平成 26年 6月 22日

出力指定 (C) 3 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) 4 C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。 本ソフトの「発生記録（予定）日」に連携される項目です。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。



取組日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。貸方勘定科目を「電子記録債務」、補助科目を「支払先A(で)」、摘要を電子記録債権での支払である旨がわかるよう修正して登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
216,000	312 買掛金	対象外 会社口座	121 当座預金	216,000
	0001 支払先A(で)			

【借方 : 216,000】
【貸方 : 216,000】

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

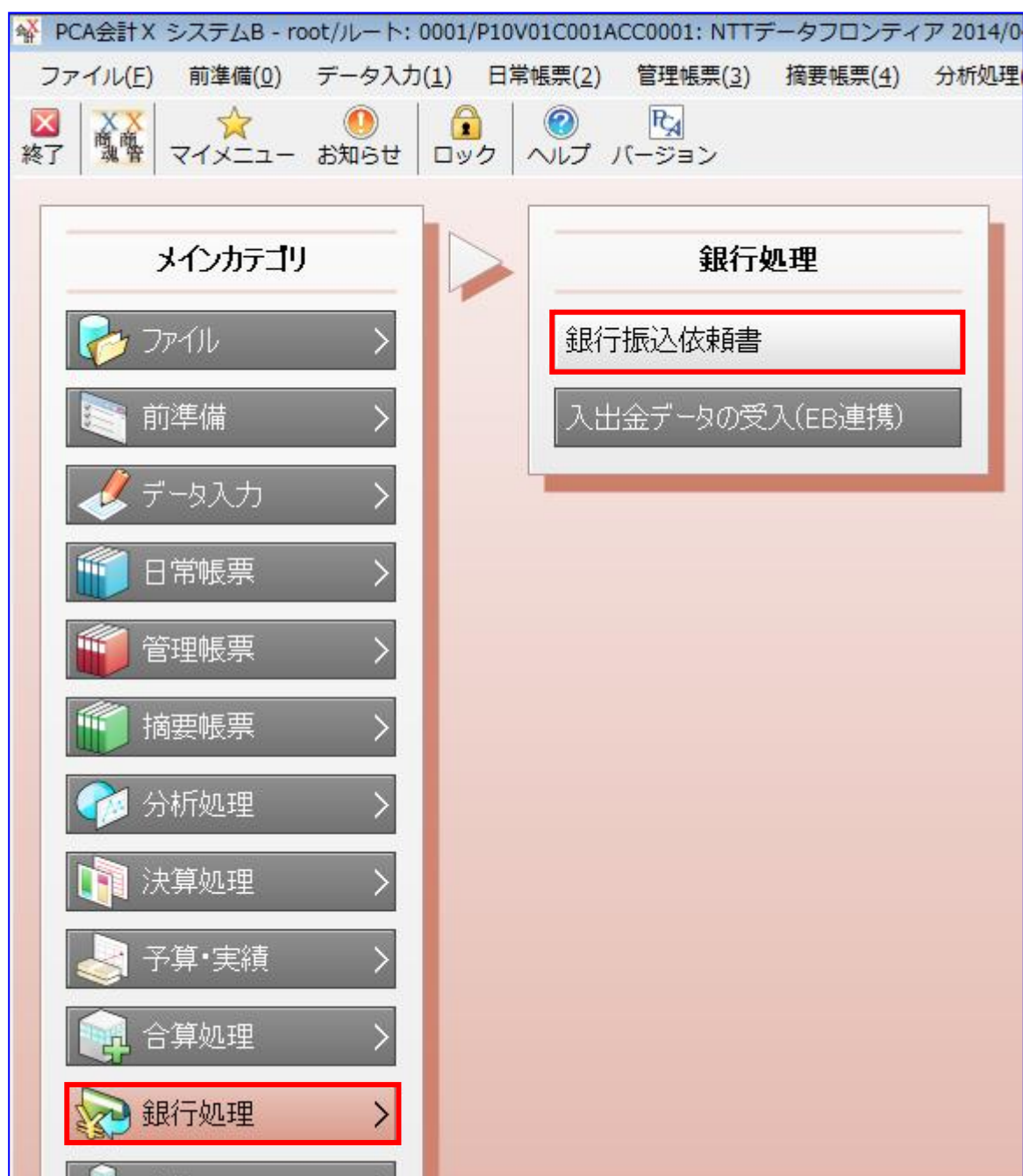
借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
216,000	312 買掛金	対象外 電子記録債権にて支払	302 電子記録債務	216,000
	0001 支払先A(で)		0001 支払先A(で)	
216,000	合計	差額	0	216,000

【借方 : 216,000】
【貸方 : 216,000】



作成された支払先A向けの振込データは、「**3.1.4 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 支払先 B 向けのデータを作成します。
[銀行処理]>[銀行振込依頼書]を押下します。



- 条件を入力し、[画面出力]を押下します。

No	項目	説明
1	出力の種類	「画面」を選択します。
2	集計期間	振替伝票入力画面で入力した伝票日付の範囲を入力します。
3	会社口座	会社口座を入力します。
4	締日/支払日	「2.1.4 補助科目を確認する (連携1-②)」で設定した支払先Bの締日を入力します。

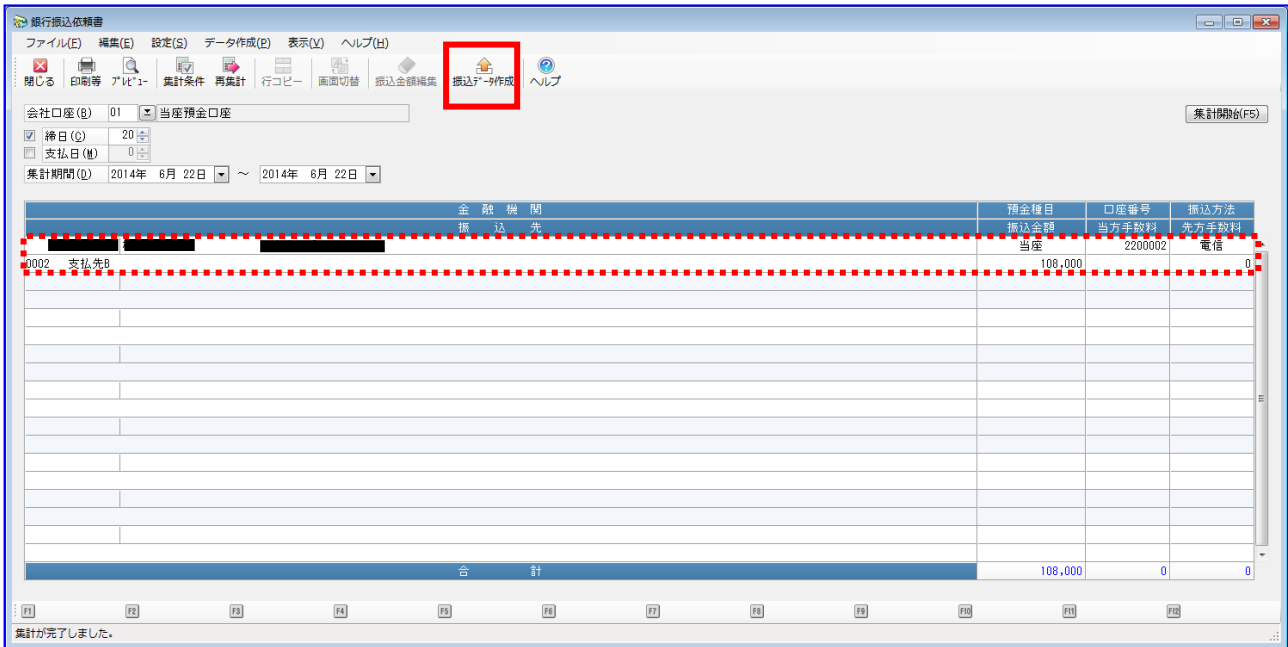


集計期間には「3.1.1 掛仕入の仕訳を作成する」で作成した伝票の伝票日付が含まれる範囲を選択してください。



支払先Bの締日を設定することにより、支払先B向けの振込データを作成します。

振込先、金額を確認し、[振込データ作成]を押下します。



- 条件を入力し、[実行]を押下します。

振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■■■■■■
支店	■■■■■■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

仕訳設定 (I)

集計仕訳を転送済みに変更する 支払伝票を作成する

出力設定

取組日 (D) 平成 26年 6月 22日

出力指定 (O) 振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\Users\dev-original\Desktop\振込データ.txt

実行(F5) キャンセル

No	項目	説明
1	仕訳設定	「支払伝票を作成する」をチェックします。
2	取組日	取組日を入力します。
3	出力指定	「振込データの作成」を選択します。
4	出力先パス	任意の出力先を選択します。

- 出力先パスで設定したフォルダに振込データが作成され、支払伝票が表示されます。修正せず、そのまま登録します。

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マスタ登録 自動仕訳

新規 残り伝票数 1 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 6月 22日

伝票番号(N) 自動

【借方 : 貸方 :】

借方金額	借方科目/補助/税区分	摘要	貸方科目/補助/税区分	貸方金額
108,000	312 買掛金 0002 支払先B	対象外 会社口座 [] 振	121 当座預金 対象外	108,000
108,000	合計	差額	0	108,000

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

1 / 999



作成された支払先 B 向けの振込データは、EB ソフト等に送信し、振込を実施してください。

3.1.4 一括請求ファイルを作成する

「3.1.2 振込データを作成する(連携1-①)」もしくは「3.1.3 振込データを作成する(連携1-②)」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

本ソフトの発生記録(債務者)請求作成画面を開き、[総合振込データ読込]を押下します。

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 **総合振込データ読込** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/04

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名カ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
呼出	AAAAAAAAA					

債権者(取引先)情報/債権情報

	詳細	読込 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1	詳細							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

総合振込データ読込 ×

債務者(請求者)情報
 総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。
 利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。
 債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報
 総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。
 利用者番号 取引先管理より自動設定されます。
 債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日
 総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。
 1 発生記録(予定)日 支払期日
 支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)
 支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無
 譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)
 譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ
 対象ファイル 4 C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

閉じる
読込実行

✚ 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

No	項目	説明
1	取組日(振込指定日)の割り当て先	「発生記録(予定)日」を選択します。
2	支払期日	電子記録債権の支払期日を入力します。
3	譲渡制限有無	電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。
4	対象ファイル	作成した振込データを選択します。

表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ.txt

発生記録(予定)日* 2019/10/30 **1**

債権者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
A12345678	トガ*ヨシコガ*				2:当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
1	詳細	111111111	支払先 A			2:当座	1100001
2	詳細	222222222	支払先 B			2:当座	1100002

合計件数(件) 2
合計金額(円) 324,000

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ.txt

発生記録(予定)日* 2019/10/30

債権者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
A12345678	トガ*ヨシコガ*				2:当座	1100000

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者/口座番号*	債権金額(円)*	支払期日*	読込制限	依頼人 Ref.No.
1	1 01		218,000	2019/11/01	0:無	
2	2 02		108,000	2019/11/01	0:無	

合計件数(件) 2
合計金額(円) 324,000

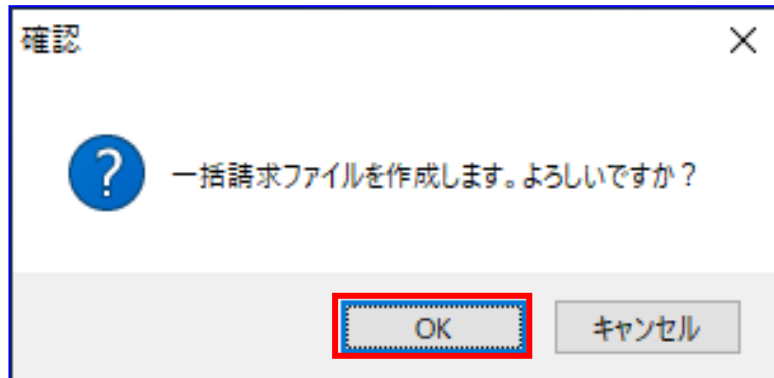
*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

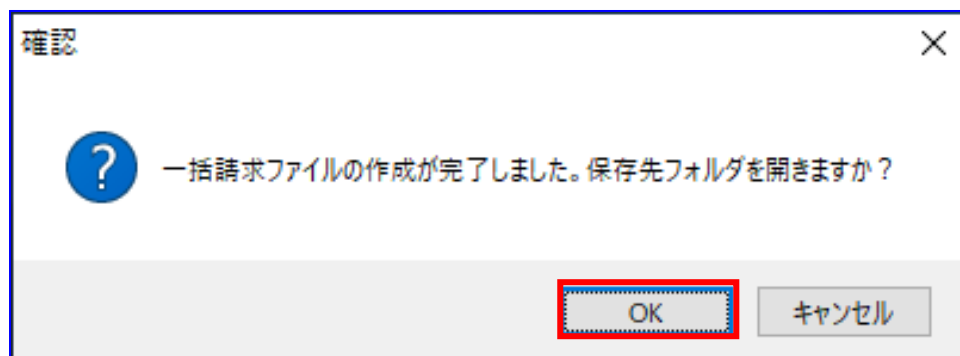
No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.2 振込データを作成する (連携1-①)」,または「3.1.3 振込データを作成する (連携1-②)」で入力した取組日が設定されます。
2	債権者情報	「3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する」で入力した補助科目に対応する情報が設定されます。
3	債権金額 (円)	「3.1.1 掛仕入の仕訳伝票を作成する」で入力した金額が設定されます。

4	支払期日	前画面で入力した支払期日が設定されます。
5	譲渡制限有無	前画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。

✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。

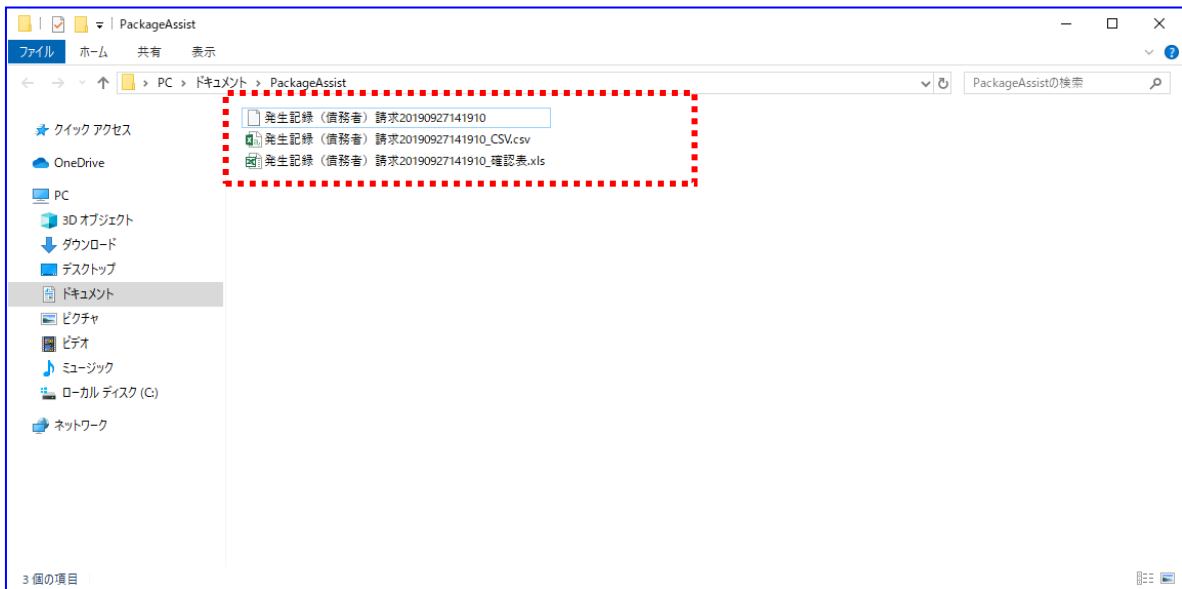


✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。

(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

発生記録(債務者)請求確認表										出力日時:2016/06/22 12:34:56		
対象ファイル:発生記録(債務者)請求20160622123456												
発生記録(予定)日										2014/06/22		
債務者(請求者)情報												
利用者番号	債務者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号					合計件数(件)	2	
AAAAAAAA	トクモク									合計金額(円)	324,000	
債権者(取引先)情報/債権情報												
No	利用者番号	債権者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	債権金額(円)	支払期日	譲渡制限 有無	依頼人Ref.No.		
1	111111111	支払先A					216,000	2014/07/31	0:無			
2	222222222	支払先B					108,000	2014/07/31	0:無			

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

一括請求結果確認表										出力日時:2016/06/22 12:34:56	
読みファイル:k420140622012345.txt											
結果										正常	
通知作成日										2014/06/22	
通知先利用者番号										AAAAAAAA	
種別コード										80:発生・譲渡通知	
文字コード区分										0:JIS	
通知先口座情報											
通知先口座種別										?:当座	
通知先口座番号										1100000	
合計件数(件)										2	
合計金額(円)										324,000	
No	区分	記録番号	債権金額(円)	電	支払期日	債権者	債権者口座情報	譲渡制限 有無	依頼人Ref.No.		
1	01:発生 (債務者請求)	500000403000001100001	1,000,001	電	2016/06/22	債務者	トクモク	?:当座	1100000	0:無	
					2014/07/31	債権者	205474-	?:当座	2200001		
2	01:発生 (債務者請求)	500000403000001100002	1,000,002	電	2016/06/22	債務者	トクモク	?:当座	1100000	0:無	
					2014/07/31	債権者	205474-	?:当座	2200002		



支払期日が到来すると会社口座より債権金額の自動引落が実施されます。
入出金明細データを取得し、「PCA 会計」に登録してください。

「PCA 会計」を開き、下記より登録します。
[銀行処理]>[入出金データの受入 (EB 連携)]

PCA会計X システムB - root/ルート: 0002/P10V01C001ACC0003: NTTデータフロンティア 2014/04/01

ファイル(E) 前準備(Q) データ入力(1) 日常帳票(2) 管理帳票(3) 摘要帳票(4) 分析処理(5)

終了 商業管 マイメニュー お知らせ ロック ヘルプ バージョン

メインカテゴリ

- ファイル
- 前準備
- データ入力
- 日常帳票
- 管理帳票
- 摘要帳票
- 分析処理
- 決算処理
- 予算・実績
- 合算処理
- 銀行処理**

銀行処理

- 銀行振込依頼書
- 入出金データの受入(EB連携)**

4 事前設定(連携 2)

4.1 「PCA 会計」事前設定(連携 2)

通知ファイルから仕訳伝票を作成する際(連携 2)の「PCA 会計」事前設定方法を説明します。

操作手順

4.1.1
勘定科目を
確認する

4.1.2
補助科目を
確認する

4.1.3
部門を確認する

操作方法

4.1.1 勘定科目を確認する

連携で使用する勘定科目が登録されているか確認します。

- 🚦 「PCA 会計」を開き、[前準備]>[勘定科目の登録]を押下します。



- 勘定科目「売掛金」が存在することを確認します。
勘定科目「売掛金」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加算引	貸借	借税	貸税
151	電子記録債権	受取手形	電子債	借方	00	00
152	売掛金	売掛金	売掛金	借方	00	00
159	貸倒引当金	貸倒引当金	貸倒引	貸方	00	00
161	有価証券	有価証券	有価証	借方	00	X0
171	商品	商品	商品	借方	00	00
175	製品	製品	セ化	借方	00	00
176	原材料	原材料	ケンザ	借方	00	00
177	仕掛品	仕掛品	仕掛品	借方	00	00
178	貯蔵品	貯蔵品	貯蔵品	借方	00	00
180	未収収益	未収収益	未収収	借方	00	00
181	前渡金	前渡金	前渡金	借方	00	00
182	立替金	立替金	立替金	借方	00	00
183	短期貸付金	短期貸付金	短期貸	借方	00	00
184	未収入金	未収入金	未収入	借方	00	00
185	前払費用	前払費用	前払費	借方	00	00
186	繰延税金資産	繰延税金資産	繰延税	借方	00	00
187	仮払金	仮払金	仮払金	借方	00	00
188	他流動資産	その他の流動資産	ソタリ	借方	00	00
191	仮払消費税等	仮払消費税等	仮払消	借方	Q4	Q4
197	未収消費税等	未収消費税等	未収消	借方	00	00
199	貸倒引当金	貸倒引当金	貸倒引	貸方	00	00
211	建物	建物	建物	借方	Q4	00
212	建物付属設備	建物付属設備	建物付	借方	Q4	00
213	構築物	構築物	構築物	借方	Q4	00
214	機械装置	機械装置	機械装	借方	Q4	00
215	車両運搬具	車両運搬具	車両運	借方	Q4	00
216	工具器具備品	工具器具備品	工具器	借方	Q4	00
219	有形固定資産	有形固定資産	有形固	借方	Q4	00

- 勘定科目「電子記録債権」が存在することを確認します。
勘定科目「電子記録債権」が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ コードダイレクト入力(F8)

[属性グループ別]

(すべてのデータ)
B/S科目
P/L科目

コード	勘定科目名	勘定科目属性	加索引	管借	借税	貸税
151	電子記録債権	受取手形	デジキ	借方	00	00
152	売掛金	売掛金	カガキ	借方	00	00
159	貸倒引当金	貸倒引当金	カガオ	貸方	00	00
161	有価証券	有価証券	カガヨ	借方	00	X0
171	商品	商品	カガシ	借方	00	00
175	製品	製品	セ化シ	借方	00	00
176	原材料	原材料	ケンガ	借方	00	00
177	仕掛品	仕掛品	シガキ	借方	00	00
178	貯蔵品	貯蔵品	チゾウ	借方	00	00
180	未収収益	未収収益	ミユウ	借方	00	00
181	前渡金	前渡金	マワシ	借方	00	00
182	立替金	立替金	タガキ	借方	00	00
183	短期貸付金	短期貸付金	タガカ	借方	00	00
184	未収入金	未収入金	ミユウ	借方	00	00
185	前払費用	前払費用	マハラ	借方	00	00
186	繰延税金資産	繰延税金資産	カハラ	借方	00	00
187	仮払金	仮払金	カハラ	借方	00	00
188	他流動資産	その他の流動資産	ソタリ	借方	00	00
191	仮払消費税等	仮払消費税等	カハラ	借方	Q4	Q4
197	未収消費税等	未収消費税等	ミユウ	借方	00	00
199	貸倒引当金	貸倒引当金	カガオ	貸方	00	00
211	建物	建物	タタ	借方	Q4	00
212	建物付属設備	建物付属設備	タタノ	借方	Q4	00
213	構築物	構築物	コウコウ	借方	Q4	00
214	機械装置	機械装置	キョウ	借方	Q4	00
215	車両運搬具	車両運搬具	シヤク	借方	Q4	00
216	工具器具備品	工具器具備品	コウキ	借方	Q4	00
218	有形固定資産	その他の有形固定資産	ソタリ	借方	Q4	00

ダブルクリック または Enter キーで、選択しているデータの入力画面を表示します。

174件



- 勘定科目「電子記録債権」の新規作成について
- 勘定科目属性は「受取手形」を設定してください。
 - 貸借区分は「借方」を設定してください。

4.1.2 補助科目を確認する


連携で使用する補助科目が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備]>[金融機関の登録]を押下します。



- 得意先に対応する補助科目が存在することを確認します。
補助科目が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1～4 を参照）
（新規作成方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。）

例	補助科目名	勘定科目名	補助区分	借税	貸税	税自動計算	税端数処理	振込先	締日
例 1	得意先A	電子記録債権	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
例 2	得意先A	売掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
例 3	得意先B	電子記録債権	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0
例 4	得意先B	売掛金	共通	00	00	指定なし	指定なし	使用しない	0


 電子記録債権の得意先は、最初に登録する補助科目は「科目別補助」で作成し、2つ目以降は、最初に登録した補助科目を「共通補助」として呼出して登録します。
 結果としては、上図の通り、補助区分「共通補助」で勘定科目「電子記録債権」「売掛金」が登録されます。

例1：補助科目名「得意先A」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債権」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「得意先A」を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 2：補助科目名「得意先 A」、勘定科目「売掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「売掛金」を設定します。
2	補助区分	「共通補助」を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例1で設定した補助科目名を選択する。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 3：補助科目名「得意先 B」、勘定科目「電子記録債権」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「電子記録債権」を設定します。
2	補助区分	「科目別補助」を設定します。
3	コード	任意のコードを入力します。
4	補助科目名	「得意先B」を設定します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

例 4：補助科目名「得意先 B」、勘定科目「売掛金」の設定例

No	項目	説明
1	勘定科目	勘定科目「売掛金」を設定します。
2	補助区分	「共通補助」を設定します。
3	基本設定	[補助選択]を押下し、補助科目の検索画面にて例3で設定した補助科目名を選択する。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

4.1.3 部門を確認する

部門を部門の登録画面で管理している場合、登録内容を確認します。



部門を使用していない場合、本項の作業は不要です。

✚ [前準備]>[部門の登録]を押下します。



- ✚ 部門に対応するレコードが存在することを確認します。
部門が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。

コード	部門名	加索引
000	共通部門	キョウツウ
001	東京支店	トウキョウ
002	大阪支店	オサカ

4.2 本ソフトの事前設定(連携 2)

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順

4.2.1

通知確認設定情報を設定する

4.2.2

取引先を設定する

4.2.3

出力 CSV 設定を設定する

4.2.4

固定値を設定する

操作方法

4.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '通知確認設定情報' (Notification Confirmation Settings) section is highlighted with a red dashed box. In this section, the '予約通知' (Reservation Notification) is set to '出力しない' (Do not output), which is also highlighted with a red dashed box. The '保存' (Save) button at the bottom right is highlighted with a red solid box.

設定項目	設定内容
請求者利用者番号	<input checked="" type="radio"/> 通常利用時 <input type="radio"/> 事務代行等での利用時
利用者番号	AAAAAAAAA
ファイル出力先	C:\Users\%assist-user%\Documents\%PackageAssist
口座種別区分	<input type="radio"/> 別段を利用する <input checked="" type="radio"/> 別段を利用しない
一括請求ファイル拡張子	<input type="radio"/> 付与する <input checked="" type="radio"/> 付与しない
メニュー表示有無	
発生記録(債権者)請求	<input checked="" type="radio"/> 表示する <input type="radio"/> 表示しない
譲渡記録設定情報	
保証随伴有無	<input checked="" type="radio"/> 選択可(保証有り/無し) <input type="radio"/> 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力	<input checked="" type="radio"/> 入力する <input type="radio"/> 入力しない
通知確認設定情報	
予約通知	<input type="radio"/> 出力する <input checked="" type="radio"/> 出力しない
読込CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準
出力CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準
一括請求ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない
一括請求結果ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない
通知ファイル	<input checked="" type="radio"/> 出力する <input type="radio"/> 出力しない

4.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「4.1.2 補助科目を確認する」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	111111111	得意先 A			1: 普通	1111111
2	222222222	得意先 B			2: 当座	2222222

- 取引先 ID に補助科目のコードを登録します。

PCA会計X
 補助科目の登録画面

補助科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 検索 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ コードダイレクト入力(F8)

[勘定科目別-五十音別] データー一覧 検索結果

(すべてのデータ)	コード	補助科目名	加索引	勘定科目名
111 現金 (0)	0001	得意先A	トクイ掛	電子記録債権
112 小口現金 (0)	0001	得意先A	トクイ掛	売掛金
121 当座預金 (0)	0002	得意先B	トクイ掛	電子記録債権
131 普通預金 (0)				買掛金
139 納税準備預金 (0)				
140 貯蓄預金 (0)				

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報

取引先名*	全額振替用コード*	本店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	8888	001	1: 普通	1111111	0001
2	8888	002	2: 当座	2222222	0002

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目

戻る 更新

本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 会計」の設定値と完全に一致させてください。

74

4.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットに「連携用_PCA 会計 (OBC)」を選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
配信1
連携用_勘定奉行(OBC)_SN
連携用_勘定奉行(OBC)_SY
連携用_勘定奉行(OBC)_BN
連携用_勘定奉行(OBC)_BY
連携用_商奉行(OBC)_N
連携用_商奉行(OBC)_Y
連携用_PCA会計(PCA)
連携用_発生会計(発生)
連携用_FXシリーズ(TKC)

キャンセル

4.2.4 固定値を設定する

出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、「PCA 会計」に登録されている勘定科目コードと部門コードを設定します。

✚ 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の[修正]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時

ファイル出力先 参照

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット **修正** 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル 出力する 出力しない

通知ファイル 出力する 出力しない

キャンセル 保存

- ✚ 出力 CSV フォーマットの通知の[設定]を押下します。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名

フォーマット形式

出力形式

日付形式 YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY/M/D

金額形式 カンマ有 カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果 ※未設定

通知

閉じる



連携用の出力 CSV フォーマットについては、「フォーマット名」の修正はできません。

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値を設定し、[保存]を押下します。
設定値については次ページ以降の通り設定します。

出力CSVフォーマット詳細設定 ×

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル CSV項目数

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを
社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する 自動設定する 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する 設定する 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	151
貸方勘定科目コード	5	152
借方部門コード	6	001

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

✚ 借方勘定科目コードの固定値について

「PCA 会計」の勘定科目「電子記録債権」に対応するコードを設定します。

PCA会計
(勘定科目の登録画面)

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 印刷等 最新 新規 詳細 削除 リスト項目 ヘルプ

[属性グループ別] ▼

(すべてのデータ)

- ⊕ B/S科目
- ⊕ P/L科目

コード	勘定科目名	勘定
151	電子記録債権	受取
152	売掛金	売掛
159	貸倒引当金	貸倒
161	有価証券	有価
171	商品	商品

一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名刺 *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名刺 *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名刺 *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	151
貸方勘定科目コード	5	
借方部門コード	6	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

79

- 貸方勘定科目コードの固定値について
「PCA 会計」の勘定科目「売掛金」に対応するコードを設定します。

**PCA会計
(勘定科目の登録画面)**

勘定科目の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

[属性グループ別]

- (すべてのデータ)
- B/S科目
- P/L科目

コード	勘定科目名	勘定
151	電子記録債権	受
152	売掛金	売
159	貸倒引当金	貸
161	有価証券	有
171	商品	商

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名 *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名 *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名 *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方勘定科目コード	4	1
貸方勘定科目コード	5	152
借方部門コード	6	

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

- 借方部門コード、貸方部門コードの固定値について
「PCA 会計」の部門に対応するコードを設定します。

**PCA会計
(部門の登録画面)**

部門の登録

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 挿入 削除 検

コード	
000	共通部門
001	東京支店
002	

**一括請求Assist
(出力CSVフォーマット設定画面)**

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
作成対象区分 *1		
通知作成日 *1		
通知先情報_利用者番号 *1		
通知先情報_通知先名か *1		
通知先情報_金融機関コード *1		
通知先情報_金融機関名か *1		
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
借方部門コード	6	001
貸方部門コード	7	001
税区分コード	8	00

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。



本ソフトで設定する「PCA 会計」との連携用の「部門コード」は1種類になります。複数の部門を使い分けて利用する場合は、連携後の「PCA 会計」の振替伝票入力画面で修正するか、連携の都度、本手順にて固定値を修正してください。
(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

【参考】固定値の属性と桁数について

出力 CSV フォーマット詳細設定画面の固定値について、各項目は半角／全角で設定可能ですが、下記以外の属性と桁数で入力した場合、債権情報 CSV ファイル作成時にエラーが発生します。

No	固定値の項目名	属性	桁数	必須／任意	備考
1	借方勘定科目コード	全角／半角	10	必須	
2	貸方勘定科目コード	全角／半角	10	必須	
3	借方部門コード	全角／半角	6	必須	
4	貸方部門コード	全角／半角	6	必須	
5	税区分コード	全角／半角	2	必須	
6	税額	全角／半角	11	必須	

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
1	CSV 項目数	11
2	利用者 ID の自動設定有無	
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する
5	タイトル行有無	
6	タイトル行有無	設定しない
7	出力 CSV 項目設定	
8	データレコード項目	
9	作成対象区分	-
10	通知作成日	-
11	通知先情報_利用者番号	-
12	通知先情報_通知先名か	-
13	通知先情報_金融機関コード	-
14	通知先情報_金融機関名か	-
15	通知先情報_支店コード	-
16	通知先情報_支店名か	-
17	通知先情報_口座種別	-
18	通知先情報_口座番号	-
19	通知先情報_利用者 ID	-
20	合計件数 (件)	-
21	合計金額 (円)	-
22	データレコード区分	-
23	義務者情報_義務者名	-
24	義務者情報_金融機関コード	-
25	義務者情報_金融機関名か	-
26	義務者情報_支店コード	-
27	義務者情報_支店名か	-
28	義務者情報_口座種別	-
29	義務者情報_口座番号	-
30	義務者情報_利用者 ID	3

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値)
31	権利者情報_権利者名	-
32	権利者情報_金融機関コード	-
33	権利者情報_金融機関名か	-
34	権利者情報_支店コード	-
35	権利者情報_支店名か	-
36	権利者情報_口座種別	-
37	権利者情報_口座番号	-
38	権利者情報_利用者 ID	-
39	債権金額 (円)	1
40	支払期日	10
41	譲渡制限有無	-
42	記録番号	11
43	依頼人 Ref. No.	-
44	電子記録年月日	2
45	取消区分	-
46	データレコード項目 (任意項目)	
47	借方勘定科目コード	4 (固定値: 空)
48	貸方勘定科目コード	5 (固定値: 空)
49	借方部門コード	6 (固定値: 空)
50	貸方部門コード	7 (固定値: 空)
51	税区分コード	8 (固定値: 00)
52	税額	9 (固定値: 0)

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目	出力内容	備考
1	データレコード		
2	伝票日付	通知ファイル, 電子記録年月日	
3	伝票番号	半角スペース 5 桁	
4	仕訳区分	半角スペース 2 桁	
5	管理仕訳区分	半角スペース 1 桁	
6	借方税計算モード	半角スペース 1 桁	
7	借方部門コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
8	借方部門名	半角スペース 30 桁	
9	借方勘定科目コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
10	借方科目名	半角スペース 14 桁	
11	借方補助コード	通知ファイル, 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に 一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	
12	借方補助名	半角スペース 14 桁	
13	借方税区分コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
14	借方税区分名	半角スペース 14 桁	
15	借方金額	通知ファイル, 債権金額	
16	借方消費税額	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
17	貸方税計算モード	半角スペース 1 桁	
18	貸方部門コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
19	貸方部門名	半角スペース 30 桁	
20	貸方勘定科目コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
21	貸方科目名	半角スペース 14 桁	
22	貸方補助コード	通知ファイル, 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号) に 一致する取引先管理情報. 取引先 ID を自動設定	
23	貸方補助名	半角スペース 14 桁	
24	貸方税区分コード	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
25	貸方税区分名	半角スペース 14 桁	
26	貸方金額	通知ファイル, 債権金額	
27	貸方消費税額	固定値: 出力 CSV フォーマット詳細設定画面で設定された値	
28	摘要文	半角スペース 256 桁	
29	数字 1	通知ファイル, 支払期日	YYMMDD 形式
30	数字 2	通知ファイル, 記録番号	
31	入力プログラム区分	半角スペース 2 桁	
32	配賦元税計算	半角スペース 1 桁	
33	配賦元集計方法	半角スペース 1 桁	
34	配賦元集計開始日付	半角スペース 8 桁	
35	配賦元集計終了日付	半角スペース 8 桁	
36	配賦元管理仕訳区分	半角スペース 2 桁	
37	配賦元部門コード	半角スペース 6 桁	
38	配賦元部門名	半角スペース 30 桁	
39	配賦元科目コード	半角スペース 10 桁	
40	配賦元科目名	半角スペース 14 桁	
41	配賦元補助コード	半角スペース 10 桁	
42	配賦元補助名	半角スペース 14 桁	
43	配賦元金額	半角スペース 12 桁	

(CSV ファイルフォーマットの詳細については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

5 連携手順(連携 2)

5.1 連携手順(連携 2)

「PCA 会計」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順

5.1.1
通知ファイルを読
込む
【本ソフト】

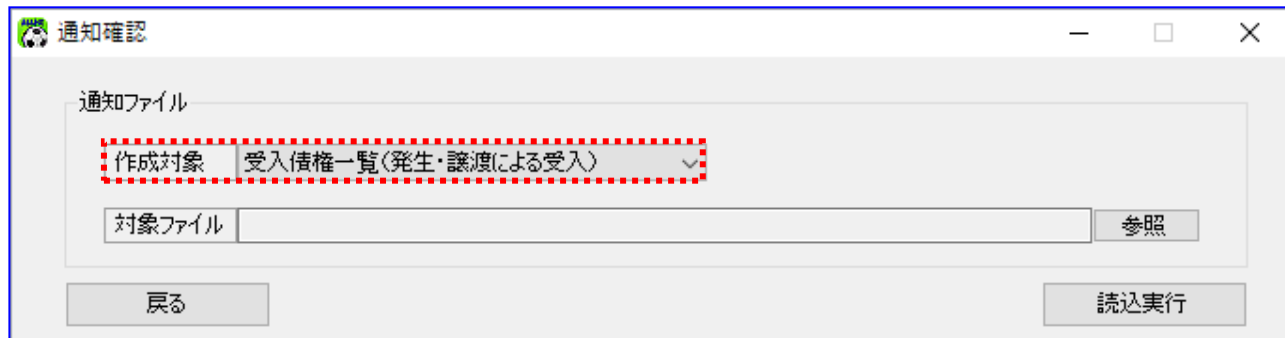
5.1.2
通知情報を
確認する
【本ソフト】

5.1.3
仕訳データを
作成する
【PCA 会計】

操作方法

5.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「PCA 会計」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

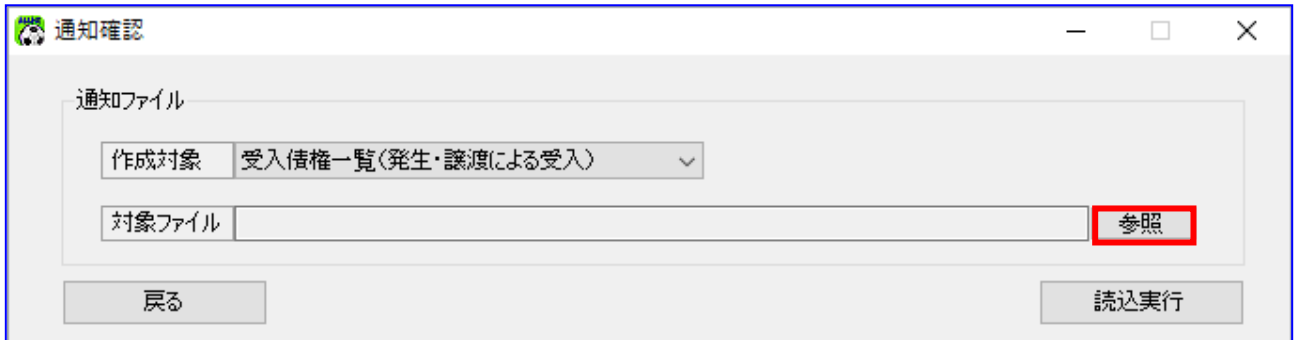


- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧 (発生・譲渡による受入)」を選択します。

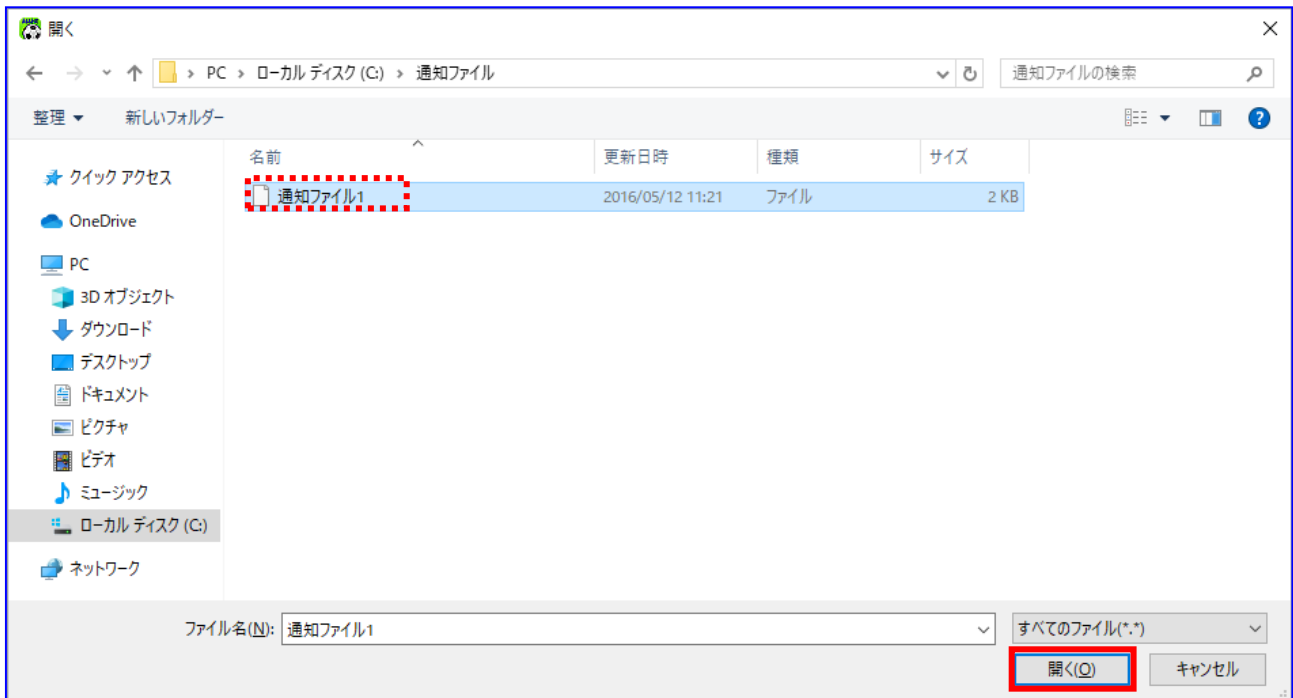


「受入債権一覧 (発生・譲渡による受入)」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読み込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報 (通知先情報の口座情報) が設定されている債権を抽出します。

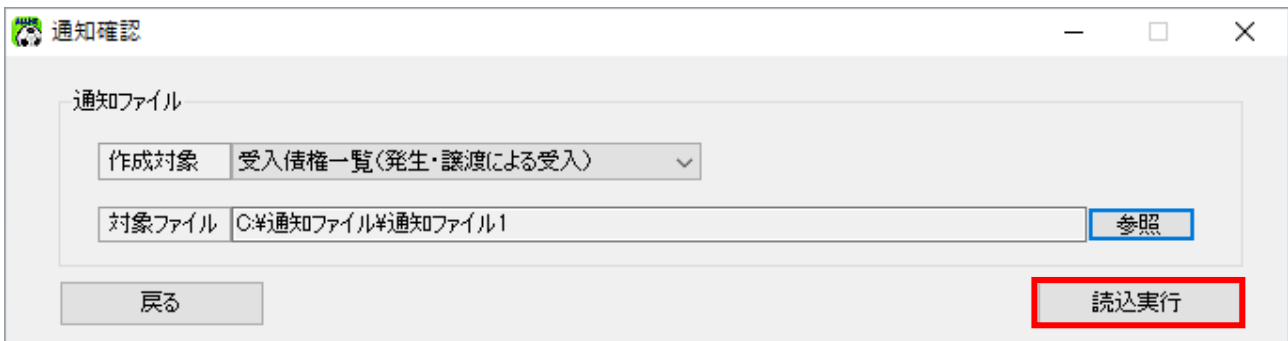
- 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



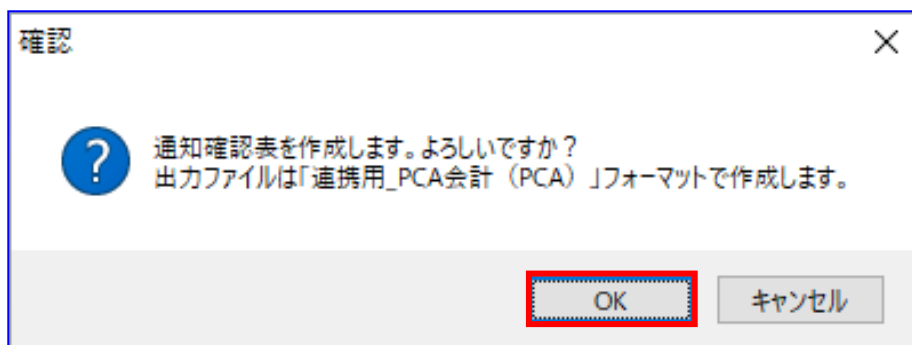
- [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✚ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

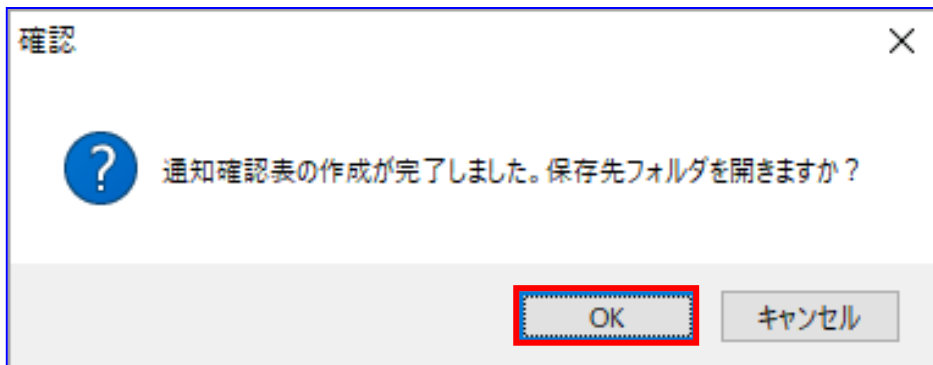


「**4.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（連携用_PCA 会計 (PCA)）が表示されます。

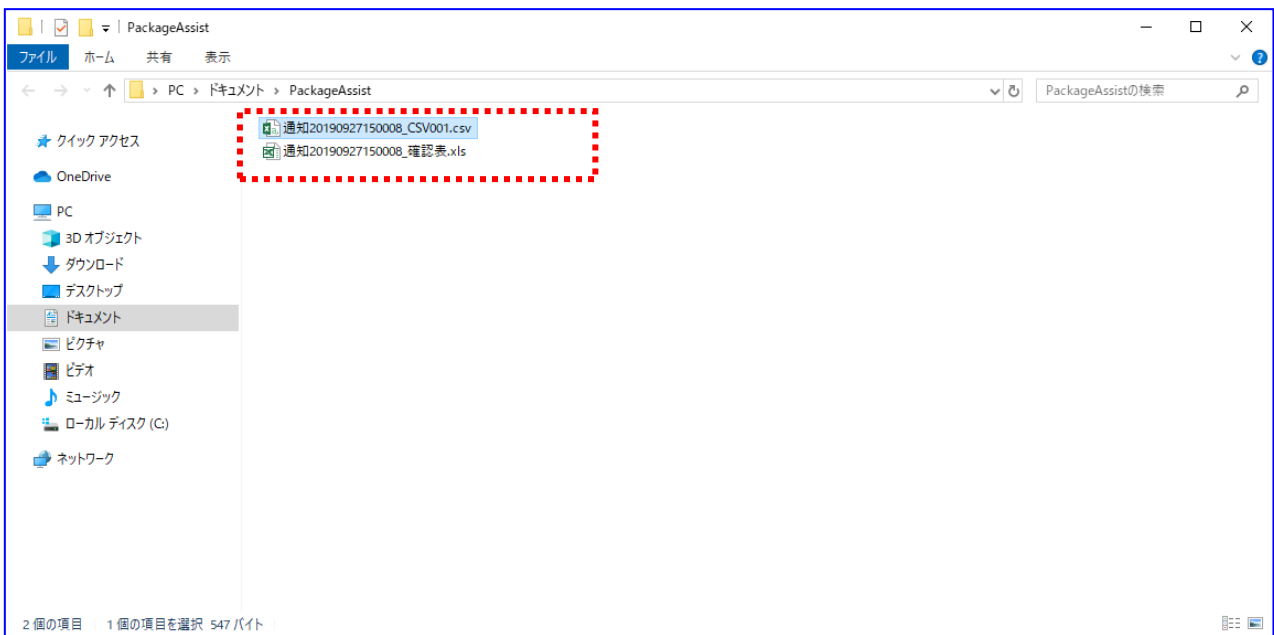



[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。
作成した通知確認表の保存先フォルダを表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



 通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表	: 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル	: 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

5.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

No	シート名	出力ファイル	通知先利用者番号	通知先名	通知先口座情報		合計件数(件)	合計金額(円)
1	通知確認表001	通知0140616175109_CS001.csv	AAAAAAAA	イサキイサキ	口座	1100000	2	200,000
2	通知確認表002	通知0140616175109_CS002.csv	AAAAAAAA	イサキイサキ	口座	2100000	2	200,000

通知確認表(概要)

通知確認表001

通知確認表002

概要シート

詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日 支払期日	債務者 債権者	債権者名 債務者名	義務者口座情報 権利者口座情報		譲渡 制限	依頼人 Ref.No.	取消 区分
1	01: 宛生 (債務者請求)	500000A0300000100001	100,000	2014/05/03	債務者	イサキイサキ	口座	1111111	0:無	ABCDEFGHIJKLMNORSTUVW XYZ01234567890123	
				2014/07/31	債務者	イサキイサキ	口座	1100000	0:無		
2	01: 宛生 (債務者請求)	500000A0300000100002	100,000	2014/05/03	債務者	イサキイサキ	口座	2222222	0:無	ABCDEFGHIJKLMNORSTUVW XYZ01234567890123	
				2014/07/31	債務者	イサキイサキ	口座	1100000	0:無		



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。
電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

5.1.3 仕訳伝票を作成する

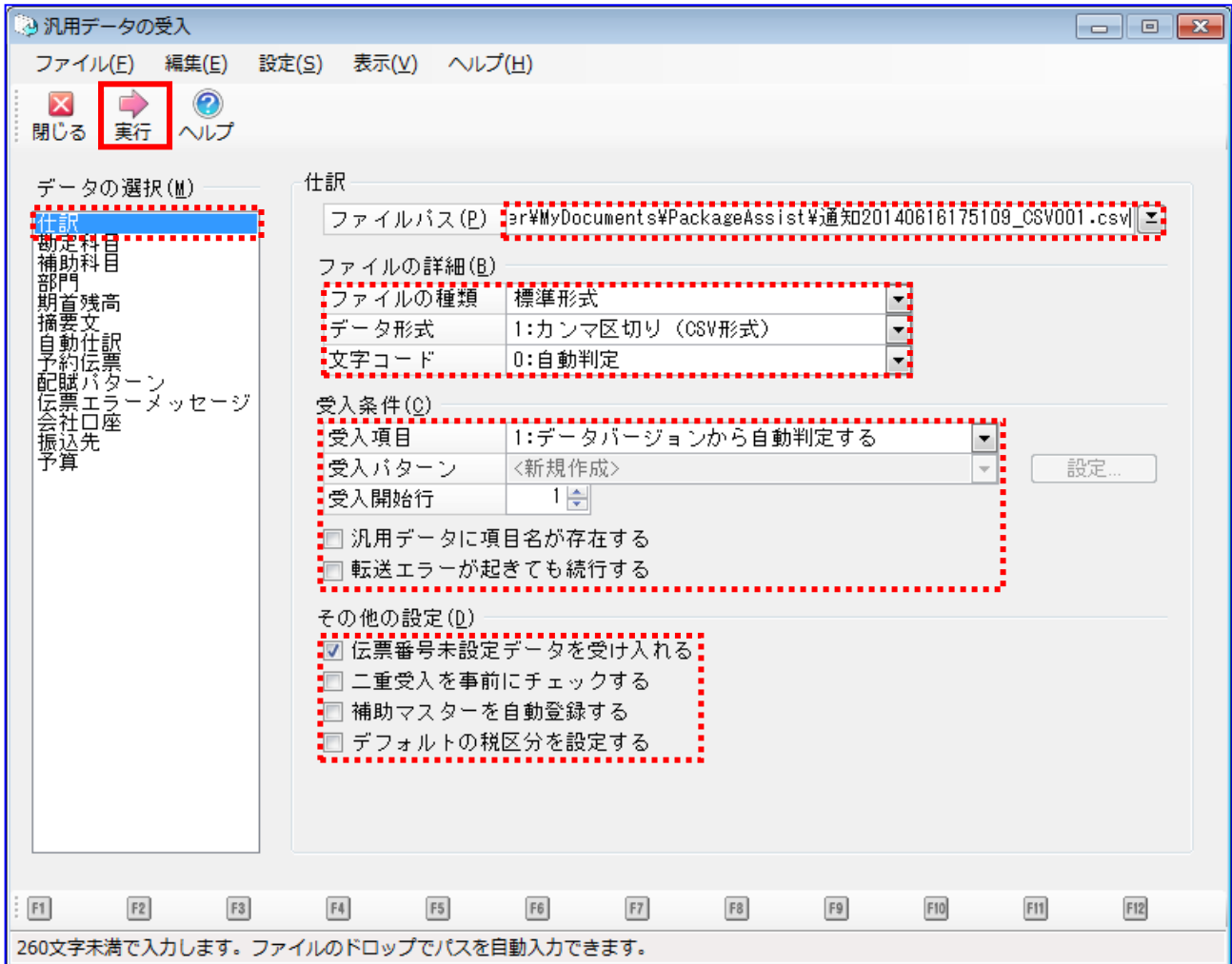
「5.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「PCA 会計」で読み込み、仕訳伝票を作成します。

- 「PCA 会計」を開き、[随時] > [汎用データの受入]を押下します。

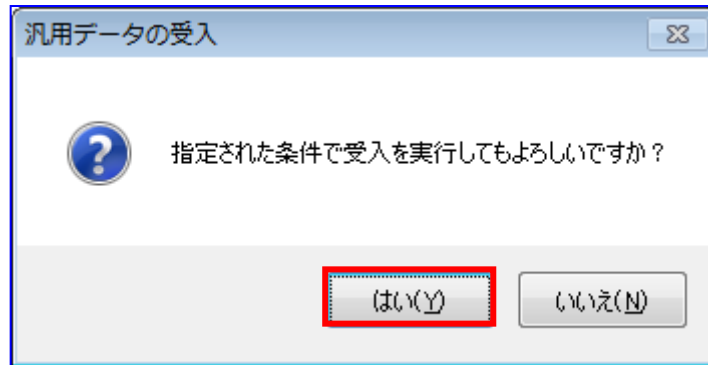


『税率 5%の経過措置の取引伝票』については、本連携手順にて債権情報 CSV ファイルを読み込ませないようご注意ください。
(経過措置の取引伝票を利用する場合には、「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

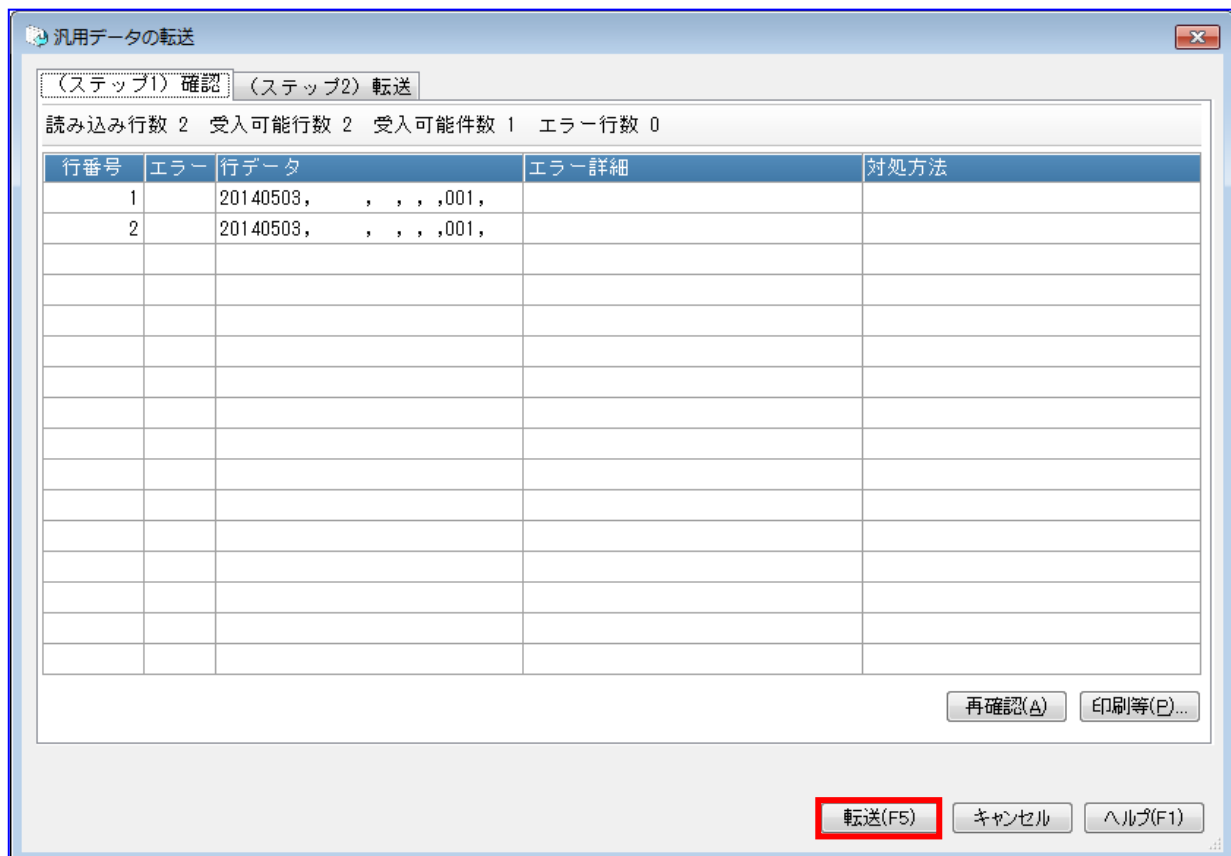
- ✦ ファイルパスに「**5.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、データの選択、ファイルの詳細、受入条件、その他の設定を下記の通り選択し、[実行]を押下します。



- + [実行]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
 よろしければ、[はい]を押下します。



- + [転送]を押下します。



- ✚ 転送結果が正常であることを確認し、[閉じる]を押下します。

汎用データの転送

(ステップ1) 確認 (ステップ2) 転送

受入可能件数 1 成功 1 失敗 0

状態	受入対象データ	転送結果
✓	平成26年 5月 3日 0	正常に作成しました。

再受入ファイルの作成(O)... 結果ログ(L)

転送(F5) 閉じる ヘルプ(F1)



「5.1.1 通知ファイルを読み込む」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。

- 仕訳伝票の内容を確認します。
[データ入力]>[振替伝票入力 (コクヨ式)]を押下します。



- 仕訳伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(振替伝票入力画面での部門の修正方法については「PCA 会計」のヘルプをご参照ください。)

振替伝票入力 (コクヨ式)

ファイル(E) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 最新 新規 修正 入力前 前伝票 次伝票 検索終了 行挿入 行削除 伝票削除 複写 逆仕訳 管理仕訳 税計算 マル登録 自動仕訳 フセン

修正 【財務】

伝票日付(D) 平成 26年 5月 3日
伝票番号(N) 1

【借方：】
【貸方：】

借方金額	借方科目/補助/税区分/部門	摘要	貸方科目/補助/税区分/部門	貸方金額
100,000	151 電子記録債権 対象外 0001 得意先A 001 東京支店	電子記録債権にて受け取り 140827 500000A0300000100001	152 売掛金 対象外 0001 得意先A 001 東京支店	100,000
100,000	151 電子記録債権 対象外 0002 得意先B 001 東京支店	電子記録債権にて受け取り 140827 500000A0300000100002	152 売掛金 対象外 0002 得意先B 001 東京支店	100,000
200,000	合計	差 額	0	200,000

通知ファイルの債権情報

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

12 / 999



「適要」については、債権情報 CSV ファイルからは連携されませんので、任意の内容を追記ください。

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 会計)

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-